



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：内閣改造後の閣議でのムハンマド首相の経済に関する発言

(3月4日付ガルフ・ニュース紙他)

内閣改造後最初の定例閣議で、ムハンマド首相兼ドバイ首長は、職務を遂行できない閣僚がいれば、新たな改造に訴えることを示唆し、建設的であることだけが閣僚のパフォーマンスを評価する基準だと述べた。

1.閣僚は、担当省の第二、第三の指導者に計画、実行、意思決定の一部となり、将来国家の重責を担うためよく準備しているよう指示し、チャンスを与えるべきである。閣僚であるあなた方には問題だけを持ってきて欲しくない。価値ある解決策をともに持ってくるべきだ。

2.我々は外国人を教育や医療のため UAE に来るように惹きつけることにより（UAE 国民が教育や医療のために海外に渡航している）現状を逆転させるために働くべきである。

3.過去2年の内閣の成果は、連邦戦略の承認、4万戸の国民向け住宅建設、海外留学生への奨学金支給額の倍増、政府職員・恩給生活者の給与増額、貧困層への社会保障であった。これらの成果は短期間にもたらされたものであったが、あなた方閣僚には、国の発展、生活、保健、教育水準の改善のためにより一層の努力を求める。

<参考>

4日、現地紙のガルフ・ニュース紙は、ドバイの商業用スペースの拡大見込みに関して以下のように報じている。ドバイの大手不動産会社によると今後3年間で、ドバイの商業用スペースは250%増大する見込みである。シャイク・ザード通り沿い及びドバイ国際金融センター（DIFC）が、最も高額な家賃を課す地域であり、DIFCは1平方フィートあたり400～450ディルハム（1万2000円～1万2000円）となっている。居住ビザ発給件数で見ると、現在ドバイの人口は167万人に達し、毎年30万人増加している。このペースで増加すると、2015年には、ドバイは410万人を抱えることになる。それにともなってドバイの住居は17万戸が市場に出回る予定である。他方1年間に必要とされる新住居数は7万戸であり（供給が間に合わず）、依然として需要高が継続していくとみられる。